

TOPICS トピックス

人権擁護委員を委嘱

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや人権侵害の被害者を救済するなど、人権に関心を持ってもらえるよう活動しています。

4月1日付けで次の方が委嘱されました。任期は3年です。(敬称略)
◎増田弘子(再任)、**葦澤加代子・中島由子(新任)**
〒市民相談課 ☎481-7032・3

議会報告会～開かれた議会をめざして～

日 5月12日(日)午後2時～4時(受付1時30分～)

所 文化会館たづくり12階大会議場

因 令和6年第1回市議会定例会の報告(議長、総務・文教・厚生・建設の4常任委員会から令和6年度予算審査の概要など)、各常任委員会や議会全体への意見・質問など 因 当日先着70人

因 1歳～就学前(因 5月8日(火)までに電話で要申し込み)

因 手話通訳あり

因 議会事務局 ☎481-7291



会場へのアクセス

令和6年度 調布市消防団役員決定

令和6年度役員は以下の通りです(敬称略)。



団 長/熊澤兼夫 副団長/倉田邦昭・小野 肇・鈴木康之
第1分団長/榎本正史 第2分団長/酒井 章 第3分団長/水嶋恭一
第4分団長/笹木英夫 第5分団長/荒井俊一 第6分団長/佐藤 大
第7分団長/深津広人 第8分団長/進藤 仁 第9分団長/村越俊一
第10分団長/白川智一 第11分団長/秋間栄一 第12分団長/望月龍太
第13分団長/田中展貴 第14分団長/馬部純一郎 第15分団長/加藤健治
因 総合防災安全課 ☎481-7348

審議会等の 会議の傍聴

※車いすや手話通訳を希望する場合は要事前相談

令和6年度第1回社会教育委員の会議

日 5月7日(火)午後1時30分～3時30分(受付1時15分～)

所 教育会館3階301研修室 因 当日先着5人

因 社会教育課 ☎481-7490

北部地域デマンド型交通実証実験 4月2日から乗降ポイントを追加

深大寺北町・東町を運行中の北部地域デマンド型交通実証実験の追加予定だった9カ所の乗降ポイントについて、条件が整ったため、利用可能となりました。

因 専用アプリまたは電話で予約 因 詳細は市HP参照
因 交通対策課 ☎481-7454



市HP

市の管理する防災井戸などのPFAS(有機フッ素化合物)の検査結果

因 環境政策課 ☎481-7087

市では、市内の防災井戸などの水質検査を行いました。検査結果による市内の地下水の状況についてお知らせします。

引き続き、国や東京都、環境分野の専門家と相談・連携し、水質検査を継続するとともに、低減措置などの対策を検討していきます。

測定地点/市の管理する防災井戸(29カ所)、湧水(1カ所)。いずれも飲用に使用せず 検査期間/令和5年11月～令和6年3月

検査項目/PFOS(ピーフォス)、PFOA(ピーフォア)、PFHxS(ピーエフヘクスエス)の3項目

指針値(暫定)/PFOSとPFOAの合算で、50ng/L(PFHxSは指針値などなし)

水質検査結果/30地点のうち、3地点で国の指針値(暫定)を超える測定値を検出。検査結果全文は市HPで公開

◎専門家のコメント

東京農工大学 高田 秀重教授

(専門:有機化合物(化学)、調布市環境保全審議会会長)

防災井戸は飲用に供していないことを前提にすると、現状、人の健康には影響がないものと考えられる。しかし、暫定指針値を超過していることを踏まえると、今後も継続して経過を観察する必要がある。

東京都立大学 奥 真美教授

(専門:環境規制(法学)、調布市環境保全審議会副会長)

暫定指針値の超過箇所については、これまでのところ飲用に供していないため、これを引き続き徹底すれば、健康影響は想定しづらい。今後も、施設管理者はもとより、国や東京都との連携・情報共有を密にしなが、リスク管理を徹底していくとともに、継続的な検査の実施と市民への正確でタイムリーな情報提供に取り組んでいく必要がある。あわせて、市民の不安や懸念に真摯に向き合い、応えていきたい。

因 市内の水道水は、東京都水道局が定期的に検査し、国の暫定目標値を大幅に下回るよう安全性を確保した管理を行っており、安心してお飲みいただけます

測定地点(防災井戸など)と検査結果(測定値はPFOSとPFOAの合算)

●: PFOSとPFOAの合算値が暫定指針値以下(≤50ng/L)

▼: PFOSとPFOAの合算値が暫定指針値超過(>50ng/L)

